

# ● RemoteView ASP Standard User Guide

RemoteView ASP Standardユーザーガイド

Version 4.4.1

2018.5

# お知らせ

Copyright © 2001~2018 RSUPPORT Co., Ltd. All Rights Reserved

本マニュアルに記載されている事柄は、製品の性能向上または機能改善などにより、将来予告なしに変更する場合があります。

RSUPPORT CO., Ltd.は、本マニュアルで説明した特殊用途以外に、市場性及び適合性などに対してどのような保証もいたしません。

RSUPPORT CO., Ltd.は、本マニュアルに含まれた誤り、またはこの資料の供給や遂行または使用と関連して直接、間接、偶然、または必然的に発生した損害に対して、どのような責任も負いかねますのでご了承ください。

本マニュアルに対する著作権と知的所有権はRSUPPORT CO., Ltd.が所有し、この権利は国内の著作権法と国際著作権条約によって保護されています。したがってRSUPPORT CO., Ltd.の事前書面同意なしに、本マニュアルの一部、あるいは全体の内容を無断にコピー、複製、転載することは著作権法に抵触します。

Windows Server 2008/ 7/ Server 2012/ 8/ 8.1/ 10/ Server 2016/macOS/linuxなどは他社所有の登録商標であり、著作権の保護を受けています。その他、本マニュアルに記載された他社所有の登録商標及び著作権、保護を受けている用語は、単に引用のためだけに使用されています。

## 本マニュアルのマークについて



利用上の注意事項です。  
必ず指示に従ってください。



利用上の参考になる内容が  
記載されています。

# 目次

1.用語説明.....	5
2.本マニュアルについて.....	5
3.RemoteView紹介.....	6
3.1 RemoteView とは? .....	6
3.2 サービスご利用のための使用環境 .....	7
3.3 RemoteView ご利用の流れ.....	9
4.RemoteView Agentインストールと削除.....	12
4.1 RemoteView Agent をインストールする .....	12
4.2 RemoteView Agent を削除する .....	15
5.遠隔地PCを管理・制御する.....	17
5.1 遠隔地 PC を管理する.....	17
5.1.1 遠隔地PCを追加する (①  /③) .....	18
5.1.2 遠隔地PCを削除する (①  /②) .....	18
5.1.3 接続アカウントを変更する (②) .....	18
5.1.4 登録情報を確認・変更する (①  /②) .....	19
5.1.5 WOLを使用するPCを追加する (①  ) .....	19
5.1.6 リストの表示方式を変更する.....	20
5.2 遠隔地 PC をコントロールする.....	21
5.2.1 遠隔地PCの接続状態を更新する .....	21
5.2.2 遠隔地PCを遠隔制御する.....	22
5.2.3 遠隔でファイルを送受信する.....	22
5.2.4 WOLで電源を起動する.....	23
5.2.5 遠隔地PCを制御する各種ツール.....	24
5.3 使用状況を確認する .....	27
5.3.1 画面を更新する  .....	27
5.3.2 統計タイプを選択する.....	27
5.4 環境設定を行う .....	29
5.4.1 個別情報 .....	29
5.4.2 ログイン管理.....	31

5.4.3	ライセンス情報.....	31
5.4.4	製品情報 .....	32
6.	遠隔地PCに接続する.....	33
6.1	ビューアメニュー .....	34
6.1.1	ホーム  .....	34
6.1.2	制御  .....	38
6.1.3	描画  .....	39
6.1.4	画面  .....	40
6.1.5	ツール  .....	43
6.1.6	追加機能  .....	47
6.2	遠隔制御中の遠隔地 PC 画面 .....	48
6.2.1	遠隔地PCから機能を使う .....	48
6.3	ステータスバー .....	49
7.	その他 .....	51
7.1	遠隔プリンターを使用する .....	51
7.1.1	遠隔プリンターをインストールする .....	51
7.1.2	遠隔プリンターで印刷する .....	52
7.1.3	遠隔プリンターを削除する .....	53
7.2	PC コンソールアプリケーションを利用してアクセスする.....	53

# 1. 用語説明

---

用語	説明
ユーザー	遠隔地PCを遠隔で操作する人
ユーザーページ	ユーザーがサービスを利用する際に接続するウェブページ
ローカルPC	遠隔地PC操作のために使用する、手元にあるPC
遠隔地PC	遠隔制御の対象となるPC
セッション	ローカルPCと遠隔地PC間の接続
ユーザID	RemoteViewのユーザーページに接続するためのログインアカウント
Agentアカウント	ユーザーが遠隔地パソコンに接続する際に使用するアカウント
表示名	Agentのインストール時に登録された遠隔地パソコン名
P2P	ローカルPCと遠隔地PCが中継サーバを通さずダイレクトに接続される方式
ゲートウェイ	ローカルPCと遠隔地PCがゲートウェイサーバを利用して接続される方式
Agent	遠隔地PCにインストールされるRemoteViewプログラム
ビューア	遠隔地PCを操作するために実行されるプログラム
接続案内画面	遠隔地PCに表示される、遠隔操作中であることを知らせる案内画面
コンソール	ユーザーページを通さずにビューアを実行するプログラム。
ライセンス	Standard、Enterpriseの2種類のライセンスのうち、ライセンスバージョンによって提供される機能が異なる。

## 2. 本マニュアルについて

---

本マニュアルはStandard Versionを基準に作成されたマニュアルです。

モバイル端末からの遠隔制御に関する内容は、別冊Android/iOSマニュアルをご参照ください。

# 3. RemoteView紹介

---

## 3.1 RemoteViewとは？

RemoteViewは、遠隔地PCに「Agent」プログラムをインストールすることで、インターネットを利用していつでも、どこでもPCやモバイル端末から遠隔地PCに接続して、簡単かつ安全にリアルタイムで遠隔操作できるサービスです。

以下のような状況でお使いいただけます。

- 自宅にいながらオフィスにあるPCにアクセスして仕事をしたい場合
- オフィスで自宅にあるパソコン、ファイルなどを使用したい場合
- サーバ管理者がIDCセンターまたはサーバ室にあるサーバを管理したい場合
- 移動が多い営業マンがオフィスにある業務関連ドキュメントを編集及び作成したい場合
- 学生または先生が遠隔地PCにある資料を使用したい場合

## 3.2 サービスご利用のための使用環境

ユーザーは、ユーザーページまたは専用のPCアプリケーションコンソールを利用し、遠隔地PCを管理することができます。ご利用推奨環境は以下のとおりです。

なお、最新の動作環境については弊社ホームページよりご確認ください。

### <Windows>

OS	Windows 2008 Server R1/R2、2012 Server R1/R2、2016 Server、 Windows 7、8、8.1、10
CPU	Pentium 4 2.0 GHz以上
メモリ	512MB以上
ウェブブラウザ	Internet Explorer 10.0~11.0(32bit) 、Microsoft Edge、Firefox35以上、Chrome40以上
ネットワーク	インターネット利用可能な環境
ファイアウォール	Out Bound 80(http) / 443(https) Port Open

### <macOS>

OS	macOS 10.7 ~ 10.13.x
CPU	Intel基盤のCPU
メモリ	512MB以上
ウェブブラウザ	Safari7.0以上、FireFox35以上、Chrome40以上
ネットワーク	インターネット利用可能な環境
ファイアウォール	Out Bound 80(http) / 443(https) Port Open

### <Linux> (Agent環境のみ)

OS	Cent OS 5.7~6.8 (32bit) / Redhat OS 5.7 ~ 6.8 (32bit)
データベース	512MB 以上
CPU	1GHz 以上
メモリ	1GB 以上
ウェブブラウザ	FireFox
ネットワーク	インターネット利用可能な環境
ファイアウォール	OutBound 80(http) / 443(https) Port Open

※X-Window等のGUI制御は未対応です。(CUIモード対応)

<Mobile - Android> (専用ビューアアプリ)

OS	Android 4.0~ 7.0.x
CPU	1GHz 以上
保存容量	20MB 以上
解像度	480 x 800 以上
ネットワーク	3G 以上、Wi-Fi対応

<Mobile - iOS> (専用ビューアアプリ)

OS	iOS 8.0 ~ 11.3.x
保存容量	30MB 以上
ネットワーク	3G 以上、Wi-Fi対応



最新の動作環境及び制限事項は

ホームページ(<https://content.rview.com/ja/support/operating-environment/>)  
をご確認ください。



### 3.3 RemoteViewご利用の流れ

- ① 遠隔地PCからRemoteViewサービスサイトにログインします。

(ユーザーID、パスワードを入力)

接続URL : <https://www.rview.com/>

ログイン後、ブラウザの「戻る」ボタンをクリックしてもログイン情報が表示されない場合、ブラウザの更新ボタンをクリックすることで、ログイン情報ページが表示されます。

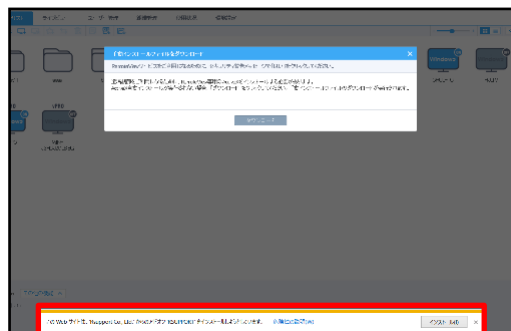
- ② ウェブブラウザでRemoteViewサービスを利用するためには各ブラウザにあうプラグインをインストールする必要があります。(すでにインストールされている場合は最新バージョンにアップデートされます。)

- Internet Explorer10 未満の場合 : ActiveX
- その他のブラウザの場合 : Simple ランチャー
  - ※ ランチャーの選択は環境設定から設定可能です。

- < Internet Explorer10 未満のブラウザの場合 >

画面下に表示された「インストール」をクリックします。

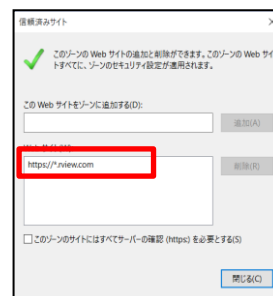
(画面上に「ダウンロード」も表示されますが、「インストール」から行わないとブラウザバージョンによってダウンロードを再度要求される場合があります。)



この Web サイトは、'Rsupport Co., Ltd.' からのアドオン 'RSUPPORT' をインストールしようとしています。 [危険性の説明\(W\)](#)

インストール(I) X

また、ブラウザのセキュリティ設定によってプラグインの動作が制限される場合があります。信頼済みサイトに \*. rview.com を登録します。(ツール > インターネットオプション > セキュリティ > 信頼済みサイト)



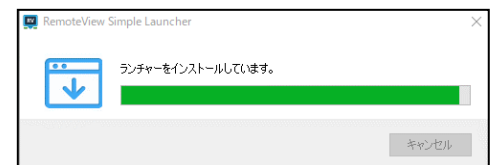
## <その他のブラウザの場合>

- ① 初回ログインすると、Simpleランチャーをインストールの画面が表示されます。

ログイン後、Simpleランチャー初回利用時は表示されるポップアップウィンドウから「Simple Launcherをダウンロード」をクリックします。



- ② ダウンロードファイルを実行し、インストールを開始します。（インストール作業が完了しますとポップアップが自動的に消えます。）



- ③ インストールが終わりましたら、パソコンリストから操作を行います。  
例：PC追加、遠隔制御、遠隔エクスプローラー、制御ツール、削除 など

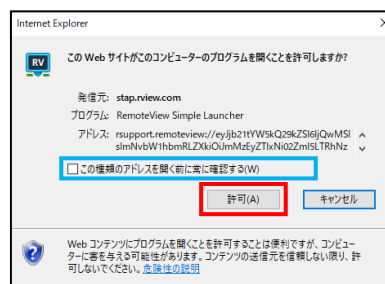
- ④ ブラウザからSimpleランチャー実行案内が表示されます。

案内に沿って、操作を行ってください。

(ブラウザの更新によって表示される内容も変更される場合があります。)

### 【Internet Explorerの場合】

チェックボックスにチェックを外し、「許可」を選択します。



### 【Google Chromeの場合】

チェックボックスにチェックを入れ、「RemoteView Simple Launcherを開く」を選択します。



## 【Microsoft Edgeの場合】

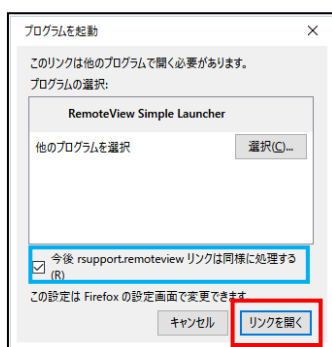
「はい」を選択します。



## 【Firefoxの場合】

チェックボックスにチェックを入れ、「リンクを開く」を選択します。

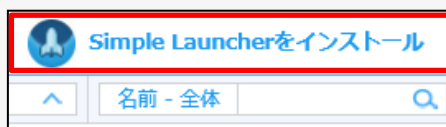
※「他のプログラムを選択」変更をしないでください。



### Simpleランチャー利用上の注意点

Simpleランチャーをインストールする際、ご利用のブラウザにランチャーの情報がCookie情報として登録されます。SimpleランチャーがインストールされていてもCookie情報の削除、利用するブラウザの変更によって、再度インストールを求められる場合があります。

Simpleランチャーをアンインストールしてもブラウザの記録されたCookie情報は削除されないため、再度インストールを求められない場合があります。この場合手動でインストールを行います。



- ランチャー実行を拒否した場合、実行されているように見えても遠隔制御を行うことができません。



※ランチャー動作を拒否した場合拒否した時間から15秒間同じ操作のリクエストを行うことができません。



# 4. RemoteView Agentインストールと削除

## 4.1 RemoteView Agentをインストールする

RemoteViewサービスを利用するためには、遠隔地PCごとにAgentをインストールする必要があります。



インストール時、インストール先のフォルダーには最初に含まれている以外のファイルを格納しないでください。

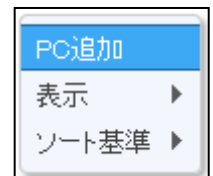
① 「PC追加」 をクリックします。

以下のいずれかの方法で「PC追加」 をクリックすることができます。

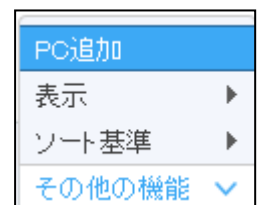
- パソコンリストページのツールバーにある「PC 追加」 アイコンをクリック



- パソコンリストの空いている所でマウスを右クリックし、「PC 追加」 メニューを選択



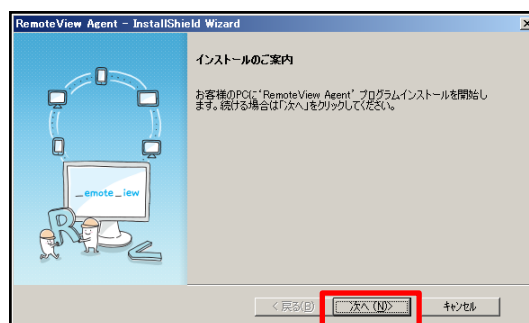
- 画面下メニューの「その他の機能」 をクリックし、「PC 追加」 メニューを選択



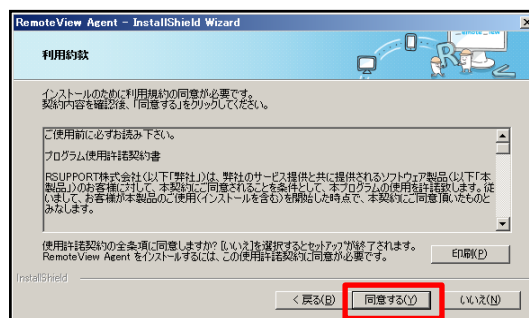
※Windows Vista以上をご利用の場合、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示される場合があります。「はい」をクリックし、許可してください。



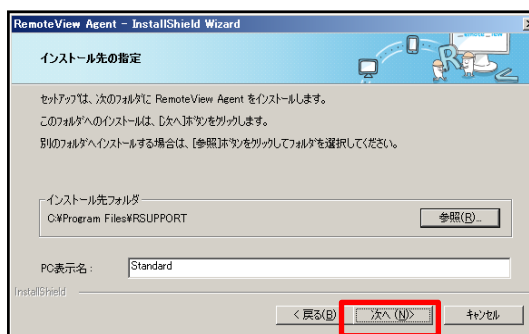
- ② インストール開始画面が表示されます。  
「次へ」をクリックします。



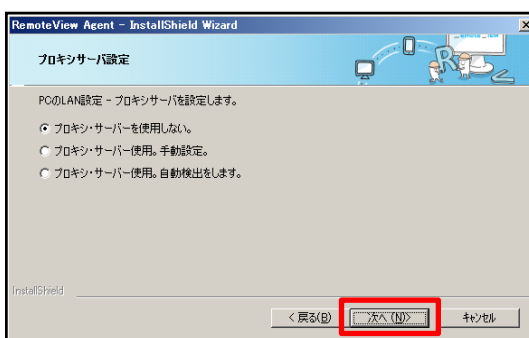
- ③ 利用約款の内容を確認後、  
「同意する」をクリックします。



- ④ Agentインストール先のフォルダー選択および  
PC表示名を入力し「次へ」をクリックします。  
※デフォルトでシステムにPC名として設定されている  
名前が表示されます。

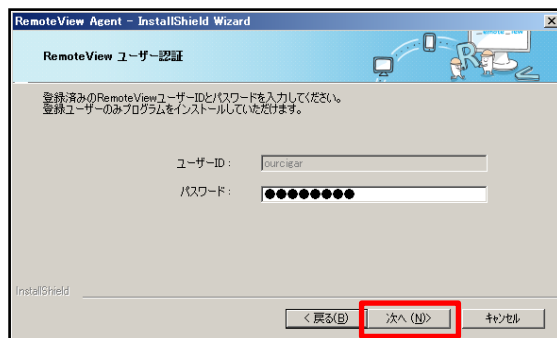


- ⑤ プロキシサーバーを使用する環境の場合、その環境に  
合うオプションを選択し、「次へ」をクリックします。  
プロキシサーバー情報はネットワーク管理者に  
お問い合わせください。

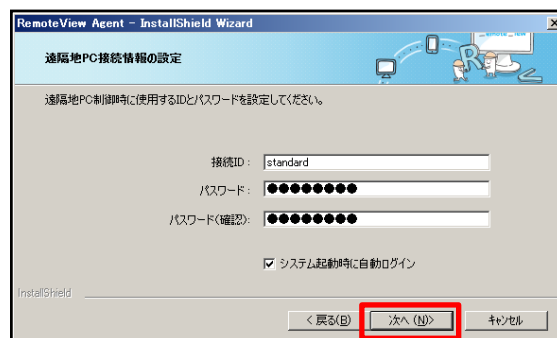


※プロキシサーバーを使用する環境の場合、インストール中にプロキシ選択オプションでユーザー環境に合うオプションを選択後、インストールを進めます。

- ⑥ ユーザーページのログインアカウントのパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。




- ⑦ Agentに接続する際に使用するAgent接続アカウントを入力し、「次へ」をクリックします。  
(登録後、遠隔地PCに接続する際に必要な情報なので、必ず控えておいてください。)



- ⑧ 「完了」をクリックします。

※デフォルトで遠隔プリンターのインストールチェックボックスにチェックが入っています。インストールをしない場合はチェックを外してください。  
(詳細は「7.1. 遠隔プリンターを使用する」参照)



- ⑨ Agentのインストール(遠隔地PCの登録)が完了すると、アップデート後に遠隔地PCの右下システムトレイにRemoteView Agentのアイコンが表示されます。  
※Agentがログインできなかった場合は  Agentでマウス右クリックし、ログインもしくは再起動を行ってください。



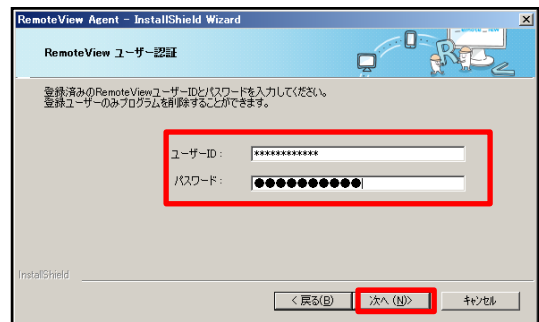
## 4.2 RemoteView Agentを削除する

遠隔地PCとして登録したPCからAgentを削除します。Agentを削除すると削除した遠隔地PCを遠隔制御することはできなくなります。

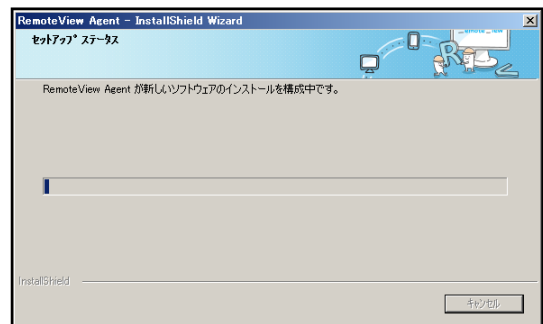


ライセンス期間満了の際には必ずAgentプログラムを削除してください。

- ① 遠隔地PCからコントロールパネル > 「プログラムと機能」を実行します。
- ② プログラムリストから「RemoteView Agent」を右クリックし、「アンインストール」をクリックします。
- ③ ユーザーページのログインアカウントのパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。



- ④ Agentアンインストールが実行されます。



- ⑤ Agentのアンインストールが完了しました。「完了」をクリックします。



- ⑥ Agentのアンインストールが完了されるとWindows画面右下のシステムトレイからRemoteView Agentアイコンが消えたことが確認できます。





# 5. 遠隔地PCを管理・制御する

RemoteViewでは、遠隔地PCを管理及び制御、モニタリングすることができます。

## 5.1 遠隔地PCを管理する

ログイン後、パソコンリストページから、遠隔地PCを追加（削除）したり登録情報を確認するなど、簡易管理を行うことができます。



以下の機能は、ユーザーがより簡単に使えるよう、3通りの方法を提供しています。

※各機能に該当する方法は、番号で確認できます。

番号	説明
①	ツールバーにあるアイコンをクリックする方法（タブレットからのご利用時に適合）
②	遠隔地PCを選択後、右クリックする方法
③	空いている空間で右クリックする方法
④	遠隔地PCを選択時：②と同じ機能 遠隔地PC未選択時：③と同じ機能

### 5.1.1 遠隔地PCを追加する (① / ③)

遠隔地PCをローカルPCから遠隔制御するためには、事前に遠隔地PCを追加する必要があります。

※遠隔地PCを登録するためには、事前に遠隔地PCにAgentがインストールされている必要があります。  
(詳細は「[4.1. RemoteView Agentをインストールする](#)」を参照)

### 5.1.2 遠隔地PCを削除する (① / ②)

選択した遠隔地PCまたはグループをリストから削除することができます。



セキュリティ確認ウィンドウが表示され、パスワードを入力する必要があります。

### 5.1.3 接続アカウントを変更する (②)

遠隔地PCを遠隔制御する際に入力するユーザー認証情報 (アカウント情報) を変更することができます。

遠隔地PC接続アカウントを変更

別称: JAPANESE-RSUP

遠隔地PCへの接続アカウントを変更します。  
変更する情報を入力してください。

Agent ID \*

Agent接続パスワード\*

Agent接続パスワード確認\*

適用 閉じる



セキュリティ確認ウィンドウが表示され、パスワードを入力する必要があります。

## 5.1.4 登録情報を確認・変更する (1) / (2)

### ● 遠隔地 PC の登録情報

遠隔地PCの登録情報確認や別称/アイコン/Agentオプションなどを変更することができます。

アイコン：    

PC      サーバ      ノートパソコン      ラックタイプ

Agent登録情報

Agent(遠隔地PC)情報

別称 \* DESKTOP-TGFCDV8

アイコン PC

備考

PC名 DESKTOP-TGFCDV8

OS Microsoft Windows 10 Home (build 14393), 64-bit

バージョン 6.0.7.2

ネットワーク情報

IPアドレス 8.11.250

MACアドレス 30-A0-73-C1

サブネットマスク 255.255.255.0

セッションサーバ strwkr1.rsupport.com

接続情報

登録日 2017/02/24 17:24:55

最終遠隔操作ユーザー admin[admin]

最終遠隔操作開始日時 2017/03/03 11:54:37

適用      キャンセル

Agent情報

Agent登録情報

Agentオプション

遠隔制御の品質設定

制御モード ユーザー設定オプションです。

画面カラー ユーザー設定オプションです。

遠隔制御の機能設定

クリップボード自動同期化 ユーザー設定オプションです。

遠隔操作時プロセス名変更  使用する  使用しない

キーボードドライバーモード  使用する  使用しない

遠隔地セキュリティ

遠隔制御開始時、遠隔画面自動ロック ユーザー設定オプションです。

遠隔制御終了時にシステムロック ユーザー設定オプションです。

Agent接続認証を使用  Agent ID/パスワードを使用  Windowsアカウントを認証  使用しない

その他セキュリティ設定

遠隔制御中のマウス・キーボード入力のロック  使用する  使用しない

適用      キャンセル

Agentオプション

## 5.1.5 WOLを使用するPCを追加する (1)

RemoteWOL製品を用いて、電源を起動するPCを追加します。この機能を使用するためには、予めRemoteWOLが登録されている必要があります。

RemoteWOLを使用すると、省エネモードやスリープモードになっているPCを起動させ、遠隔地で利用したり、自宅、会社に到着する前に使用するPCの電源を起動することができるので、業務効率の向上も図ることができます。

RemoteWOLに関する詳細はRemoteWOLの購入先にお問い合わせください。

## 5.1.6 リストの表示方式を変更する

パソコンリストに表示されている遠隔地PCの表示方式を変更することができます。



- スライダー (①  )

パソコンリストに表示されている遠隔地PCの大きさを調整することができます。

- 表示 (①  / ②  )

パソコンリストに表示されている遠隔地PCの状況をアイコン・リストで表示することができます。



アイコン表示

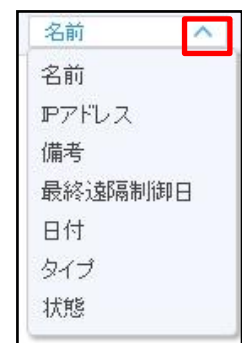


リスト表示

- ソート (①  / ②  )

パソコンリストに表示されている遠隔地PCの表示基準を選択することができます。



※  アイコンをクリックすると昇順/降順を選択することができます。



## 5.2 遠隔地PCをコントロールする

### 5.2.1 遠隔地PCの接続状態を更新する

遠隔地PCの電源やAgentのログイン状態によって遠隔地PCアイコンが異なります。

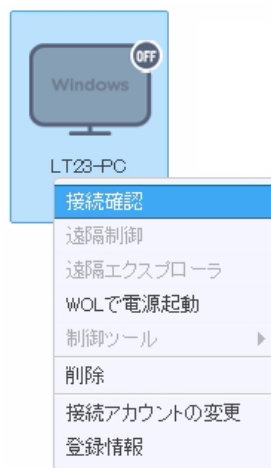
アイコン	接続可否	説明
	遠隔接続可能	Agentがログインされている状態
	遠隔接続不可	遠隔地PCの電源がOFFか、Agentがログアウト状態

遠隔地PCを遠隔制御するためには、遠隔地PCアイコンが有効である必要があります。

遠隔地PCのAgentが正常に動作しているかを確認するために、**遠隔地PCアイコンを右クリックし、「接続確認」**を選択して最新情報を取得します。



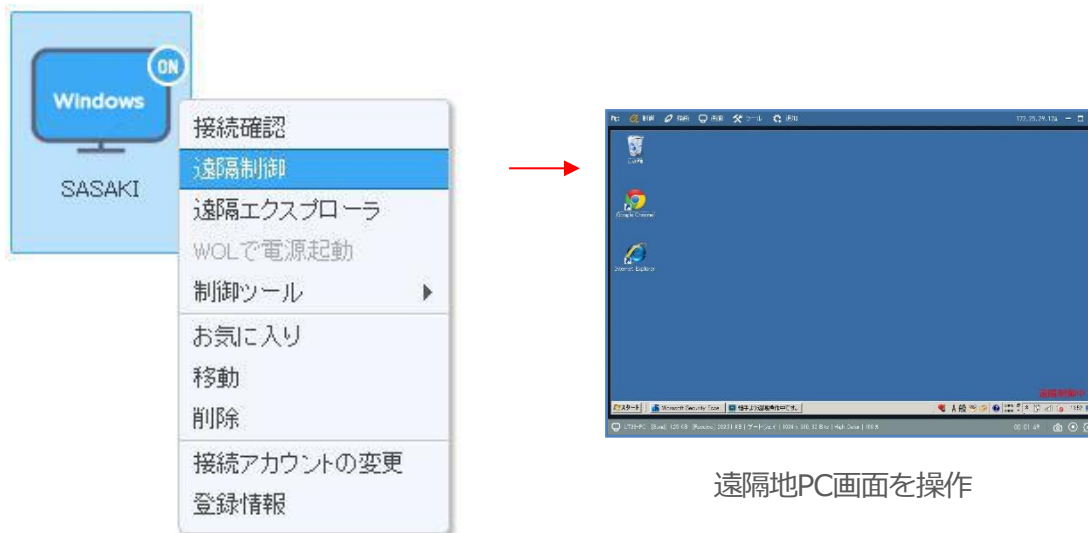
Agentがログイン状態の場合



Agentがログアウト状態の場合

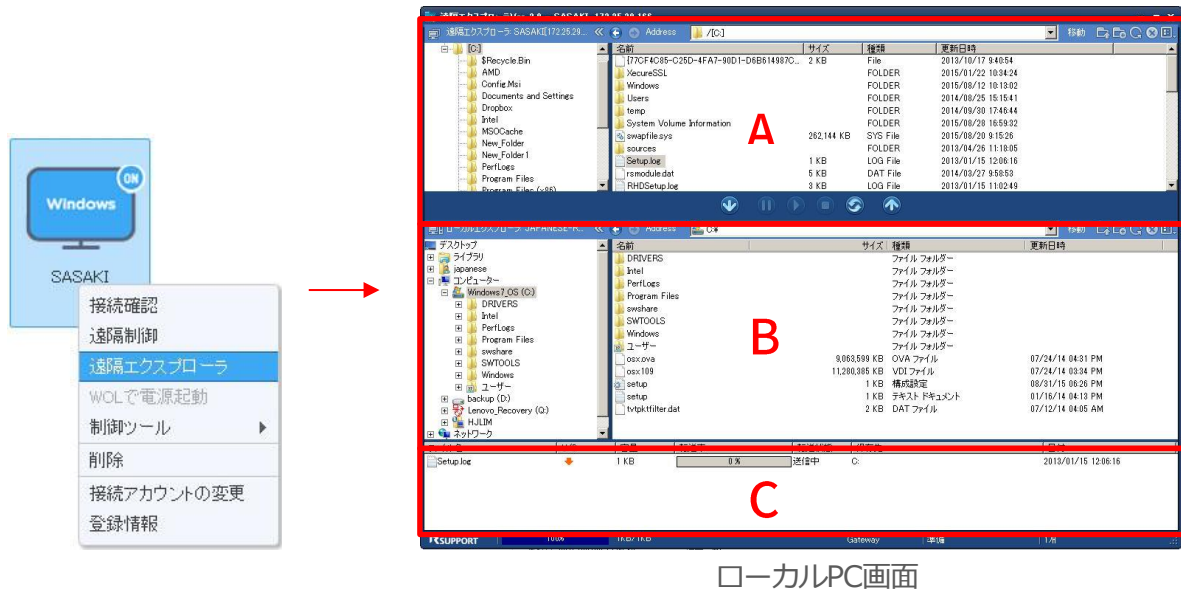
## 5.2.2 遠隔地PCを遠隔制御する

遠隔地PCのAgentが有効であることが確認できたら、ローカルPCから遠隔地PCを手元で操作しているかのように遠隔制御することができます。（詳細は「6.遠隔地PCに接続する」を参照）



## 5.2.3 遠隔でファイルを送受信する

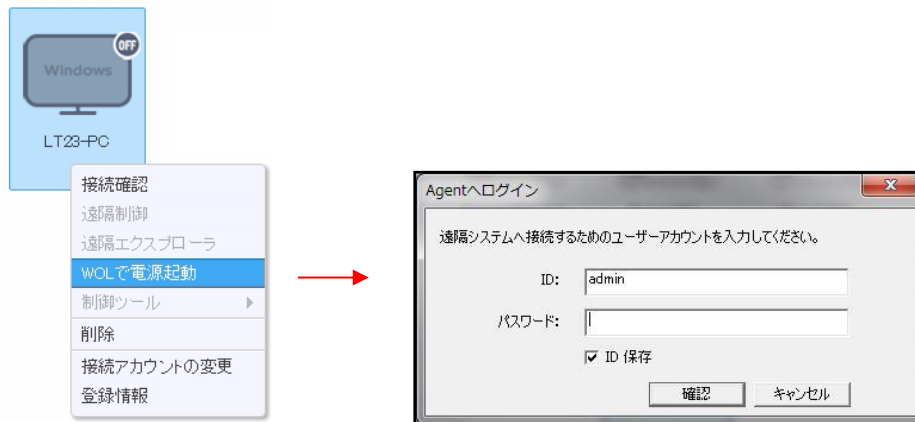
「遠隔エクスプローラ」機能を実行し、ローカルPCと遠隔地PC間でFTP(File Transfer Protocol)方式でファイルを送受信することができます。



- A. 遠隔エクスプローラ：遠隔地PCのファイルを確認/選択できます。
- B. ローカルエクスプローラ：ローカルPCのファイルを確認/選択できます。
- C. 作業情報：ファイルの送受信リストを確認できます。

## 5.2.4 WOLで電源を起動する

電源起動ハードウェア製品であるRemoteWOLを利用し、遠隔地PCの電源を起動することができます。



- Agentインストール済みの遠隔地PCが2台以上で、そのAgentが同じネットワーク帯域上にあり、最低1台以上のPC電源がONになっている必要があります。  
→ 弊社のRemoteWOLご利用の場合は、遠隔地PCが1台でも「WOLで電源起動」はご利用可能です。詳しくは下記のURLをご覧ください。

<https://content.rview.com/ja/remotewol/>

- WOL機能はMagicPacket情報が受信できない環境ではご利用いただけません。  
その他PCのハードウェアの環境、OS環境によって正常に動作しない場合があります。（WOL機能の対応環境及び動作要件はMicrosoft社の技術情報、各ハードウェアの製造元にご確認ください。）
- AgentPCに複数のネットワークカードを取り入れている場合、間違っているIPアドレス、サブネットマスク、MACアドレスを取り込んでしまう場合があります。（MagicPacketが届かなくなり、複数のネットワークカードの環境では正常に動作しない場合があります。）

## 5.2.5 遠隔地PCを制御する各種ツール

遠隔地PCに接続せずに、メニューをクリックするだけで簡単に遠隔地PCを制御することができます。

### 5.2.5.1 システムを終了させる

ログオフ、システム終了、システム再起動の操作をすることができます。

- ログオフ

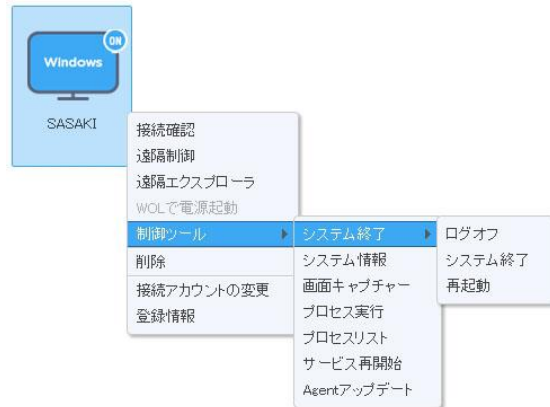
遠隔地PCのシステムをログオフします。

- システム終了

遠隔地PCのシステムを終了します。

- システム再起動

遠隔地PCのシステムを再起動します。



### 5.2.5.2 システム情報を確認する

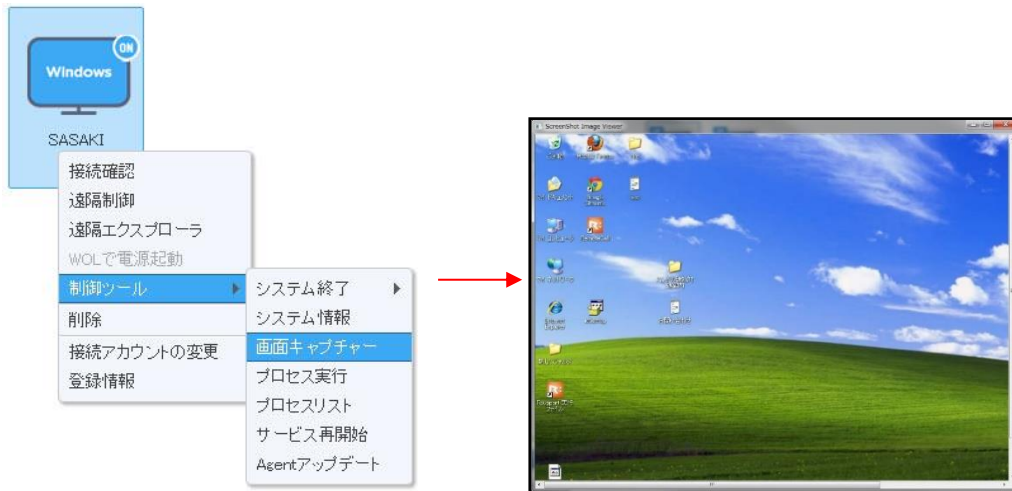
遠隔地PCのシステム情報を確認することができます。





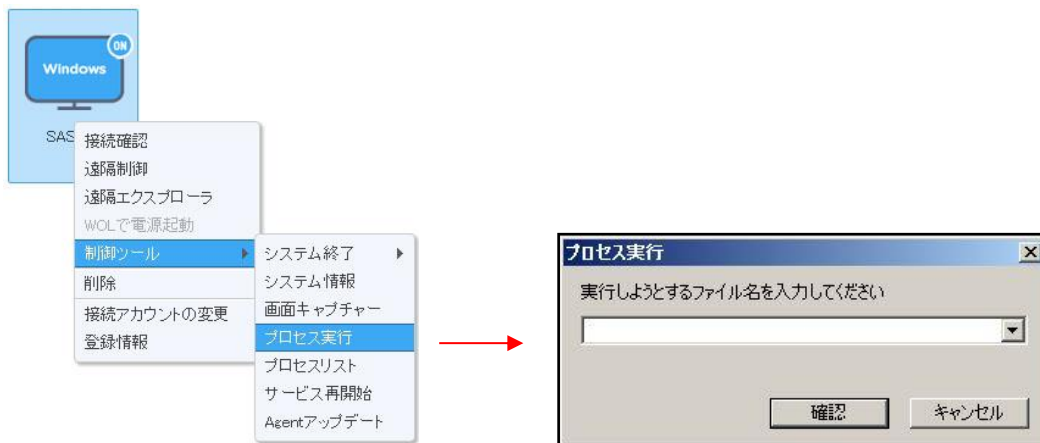
### 5.2.5.3 画面キャプチャーをする

遠隔地PCで表示されている画面をキャプチャーすることができます。



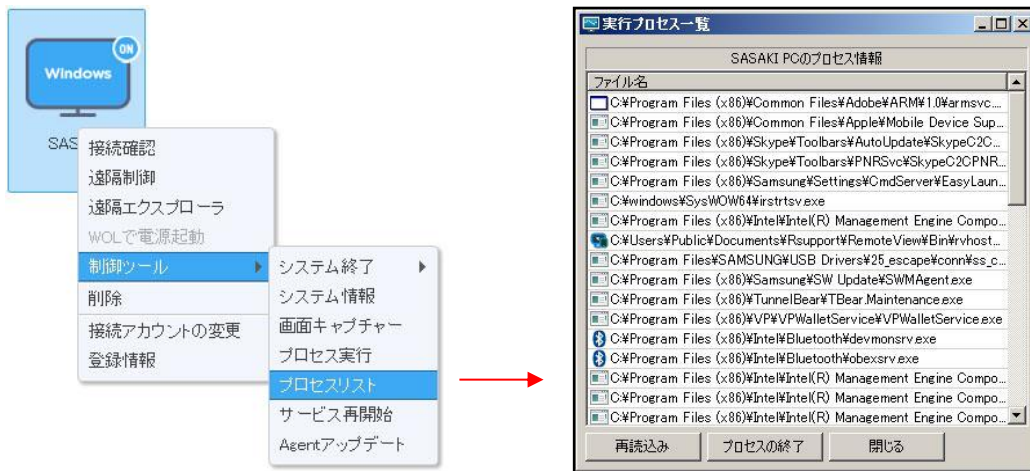
### 5.2.5.4 プロセスを実行する

遠隔地PCのプロセスを実行することができます。



### 5.2.5.5 実行中のプロセスリストを確認する

遠隔地PCで実行中のプロセスリストを確認することができます。



### 5.2.5.6 サービスを再開始させる

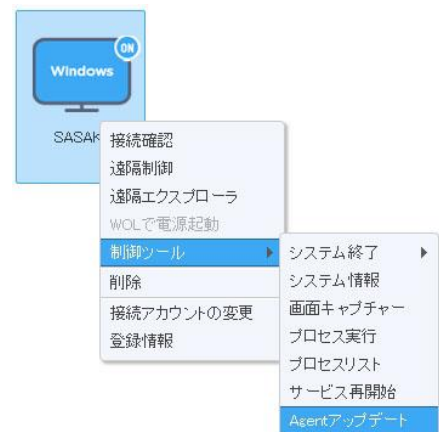
遠隔地PCのAgentを再開始することができます。



### 5.2.5.7 Agentをアップデートする

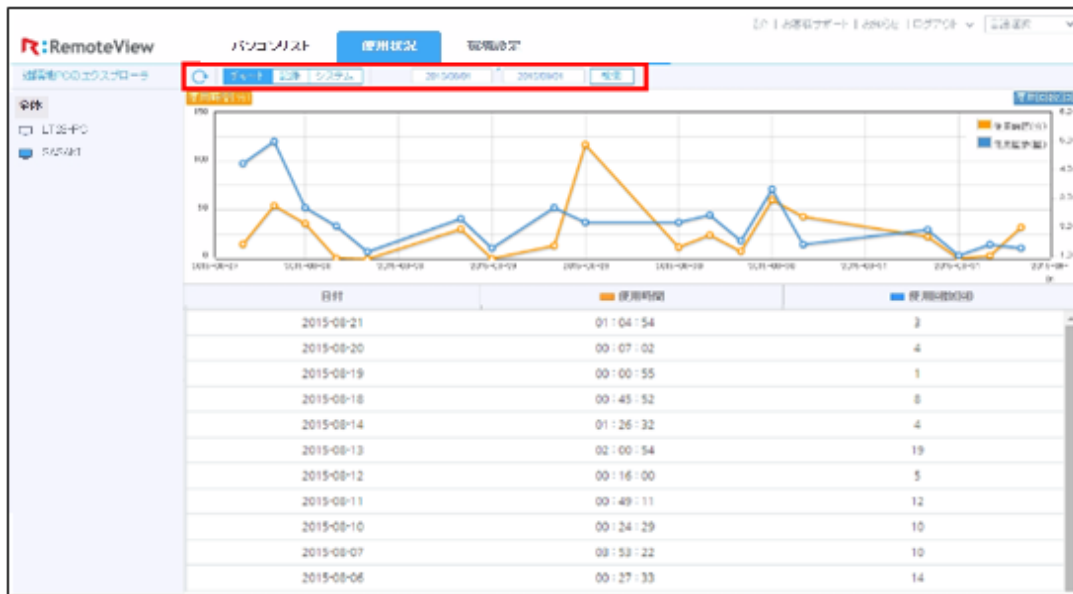
選択した遠隔地PCのAgentを最新にアップデートすることができます。

※アップデート項目がない場合は実行されません。



## 5.3 使用状況を確認する

「使用状況」ページからのRemoteViewサービス使用統計を確認することができます。



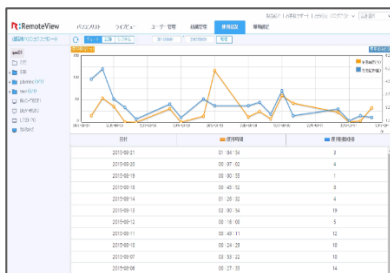
### 5.3.1 画面を更新する

ウェブページ画面のデータが更新されます。

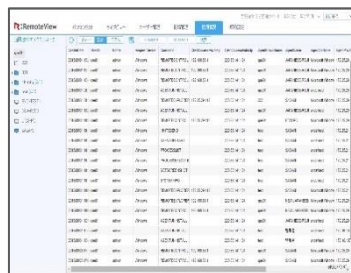
### 5.3.2 統計タイプを選択する

チャート 記録 システム 2017/12/16 ~ 2018/01/16 検索

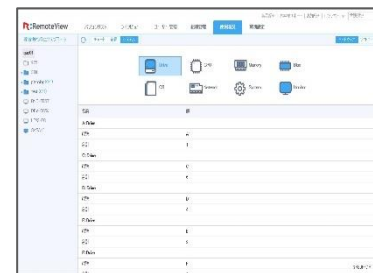
RemoteViewサービスの使用統計を「チャート」「記録」「システム」の3種類のタイプから選択して統計情報を期間別に確認することができます。



チャートタイプ



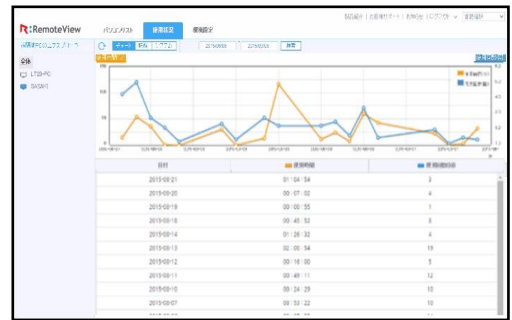
記録タイプ



システムタイプ

### 5.3.2.1 チャートタイプで見る

使用統計を確認する対象及び期間を選択し、最上位グループ、グループ、遠隔地PCの各使用統計を「日付」「使用時間」「使用回数」ごとに確認することができます。



### 5.3.2.2 記録タイプで見る

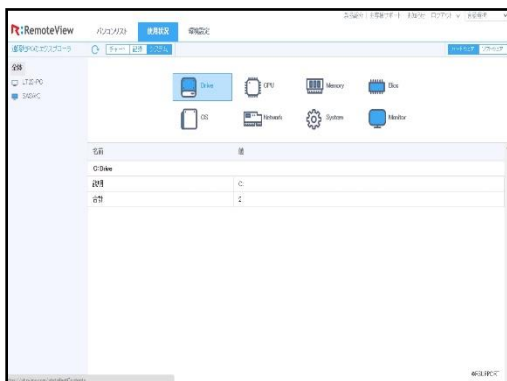
使用統計を確認する対象及び期間を選択し、遠隔地PCの各使用統計に関する詳細を確認することができます。

※Excelファイルでエクスポート  することもできます。

日時	OS	プロセス名	ユーザー	接続先	接続種別	接続先IP	接続先ポート
2019-09-21	Windows	chrome.exe	Administrator	192.168.1.100	HTTP	192.168.1.100	80
2019-09-21	Windows	chrome.exe	Administrator	192.168.1.100	HTTP	192.168.1.100	80
2019-09-21	Windows	chrome.exe	Administrator	192.168.1.100	HTTP	192.168.1.100	80
2019-09-21	Windows	chrome.exe	Administrator	192.168.1.100	HTTP	192.168.1.100	80
2019-09-21	Windows	chrome.exe	Administrator	192.168.1.100	HTTP	192.168.1.100	80
2019-09-21	Windows	chrome.exe	Administrator	192.168.1.100	HTTP	192.168.1.100	80
2019-09-21	Windows	chrome.exe	Administrator	192.168.1.100	HTTP	192.168.1.100	80
2019-09-21	Windows	chrome.exe	Administrator	192.168.1.100	HTTP	192.168.1.100	80
2019-09-21	Windows	chrome.exe	Administrator	192.168.1.100	HTTP	192.168.1.100	80
2019-09-21	Windows	chrome.exe	Administrator	192.168.1.100	HTTP	192.168.1.100	80

### 5.3.2.3 システムタイプで見る

使用統計を確認する対象及び期間を選択し、最上位グループ、グループ、遠隔地PCの各使用統計を「ハードウェア」「ソフトウェア」ごとに確認することができます。



ハードウェアタイプ

名前	数量	バージョン	ベンダー
アドビ PDF サイタ	1	11.0.0.0	Adobe
アドビ PDF サイタ (32ビット)	1	11.0.0.0	Adobe Systems Incorporated
アドビ PDF サイタ (64ビット)	1	11.0.0.0	Adobe Systems Incorporated
AVC Accelerated Video Transcode	1	10.1.0.127	Advanced Video Technologies, Inc.
AVC APP 264 Encoder	1	10.1.0.124	Advanced Video Technologies, Inc.
AVC Codec Control Manager	1	10.0.0.0	Advanced Video Technologies, Inc.
AVC Media Codec Support	1	10.1.0.0	App Store
Avira Communications (c) Avira Software GmbH (Avira)	1	10.0.0.0	Avira Communications Inc.
Driver	1		
Microsoft Office	1	16.0.0.0	Microsoft Corporation
Excel	1	16.0.0.0	App Store
excel.exe	1	201210271031	Advanced Video Technologies, Inc.
Google Chrome	1	24.0	Google
Business (アドビ) (アドビ)	1		
Adobe Reader	1	10.0.0.0	Adobe
Microsoft Office Word	1	16.0.0.0	Microsoft Corporation
PowerShell	1	4.0.0	Microsoft

ソフトウェアタイプ

## 5.4 環境設定を行う

ユーザーのアカウント情報確認・修正など、各種環境設定を行うことができます。

### 5.4.1 個別情報

#### ● アカウント設定

ユーザーのアカウント情報の確認・変更をすることができます。

(ユーザIDは変更できません。)

入力または変更されたデータは管理者のアカウント情報と連動されます。

#### ● 個人オプション設定

ユーザーが利用シーンに合わせて各機能の設定を行います。

ご利用に環境にあわせて設定を行ってください。

設定値	詳細
Agent全体使用	インストールされているAgent全体に適用されます。
Agent別設定	各Agent別に適用します。(パソコンリスト > インストールされているAgent右クリック > 「登録情報」選択 > Agent設定 > Agent別に設定可能な項目のみ有効化されます。)

<一般設定>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
複数選択機能	Ctrlキー、Shiftキー+マウスを利用した複数選択機能の使用可否を設定します。	使用する
マウス右クリックメニュー	マウス右クリック機能を利用したサービスメニューの使用可否を設定します。	使用する

<遠隔制御の機能設定>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
クリップボード自動同期化	ビューアメニューのクリップボード機能が自動的に同期化設定されます。	使用する

<遠隔制御の品質設定>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
制御モード	遠隔制御初期接続時に制御モード(高速制御モード/グラフィック制御モード)を設定します。	Agent全体使用 (高速制御モード)
画面カラー	ビューアの画面カラーを設定します。 数字が低いほど制御速度が速くなります。	256Color

<遠隔地セキュリティ>

メニュー名	詳細	デフォルト設定
遠隔制御開始時、 遠隔画面自動ロック	遠隔操作実行時に遠隔地PCの画面を黒色にロックします。	使用しない
遠隔制御終了時に システムロック	遠隔制御終了時に遠隔地PCをWindowsログイン画面に切り替えます。	使用しない
遠隔制御中のビューア 未使用時処理	遠隔制御中、一定時間使用しない場合、ビューア画面ロックまたは終了処理します。	使用しない
設定適用時、 パスワード再確認	設定を適用した際にパスワードを確認するウィンドウを表示させます。	使用する

## 5.4.2 ログイン管理

### ① 最終ログイン

最後にログインした情報を表示します。

時間	ユーザID	名前	最終アクセスIP	最終アクセス方法	最終アクセスデバイス
2018/01/16 16:59:36	admin	RSUPPORTJAPAN	119.243.74.50	Web	Windows

### ② ログイン失敗

ユーザが異なるパスワードを入力して失敗した情報を記録します。

※ 直近の3ヶ月間が表示されます

時間	ユーザID	名前	アクセスIP	アクセス方法	アクセスデバイス	パスワード入力失敗回数	アカウントロック
2018/01/16 14:29:13	a1234571	manager5	119.243.74.50	Viewer	Android	1	N
2018/01/16 14:28:30	a1234574	manager8	119.243.74.50	Viewer	Android	1	N

## 5.4.3 ライセンス情報

### ● ライセンス詳細

現在お使いのライセンス状態を確認したり、オンライン購入することができます。

バージョン	PC台数	契約日	サービス開始日	サービス終了日	区分	ステータス
Standard	10	2017/03/10	2017/03/10	2019/03/31	トライアル	有効

## 5.4.4 製品情報

### ● RemoteView 情報

製品名・バージョン・コピーライトとお問い合わせに関するリンク(製品に関するお問い合わせ、ホームページ) 情報を確認することができます。

<b>RemoteView</b> バージョン：6.0.10 COPYRIGHT © 2001 ~ 2018 RSUPPORT CO., LTD ALL RIGHTS RESERVED.	
お問い合わせ	
<b>製品のお問い合わせ</b>	<b>関連リンク</b>
• テクニカルお問い合わせ	• Rsupportホームページ
• パートナーお問い合わせ：sales.jp@rsupport.com	• RemoteView ホームページ

### ● ダウンロード

マニュアル及びアプリケーションなどをダウンロードすることができます。

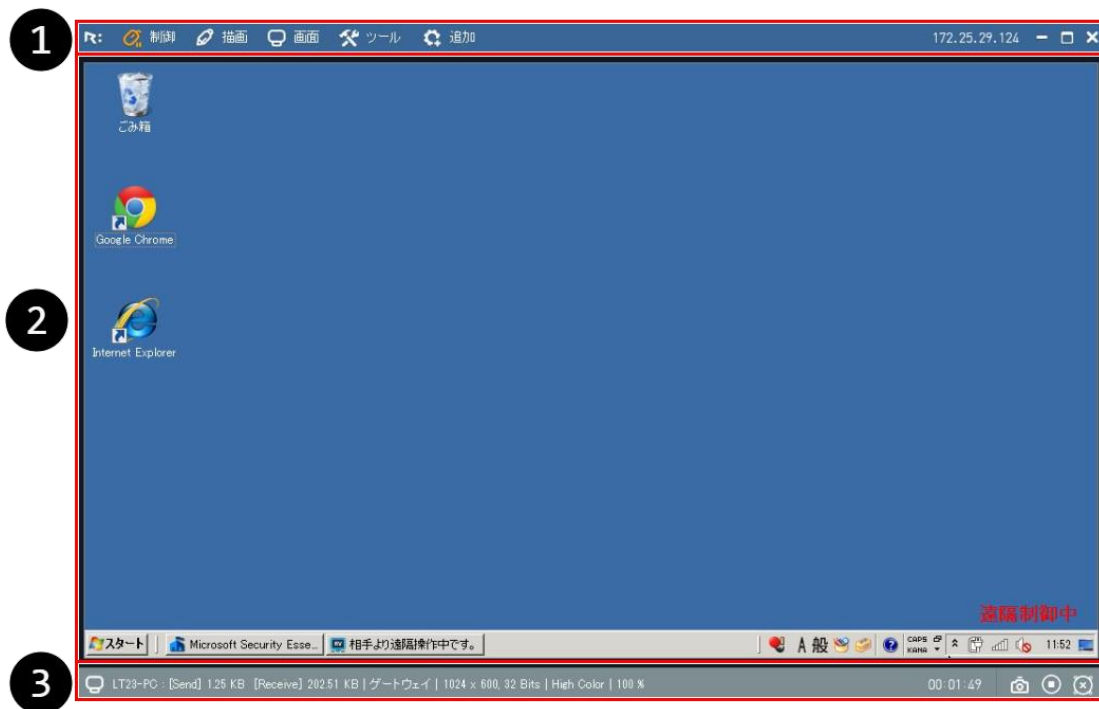
<b>RemoteView</b> 製品に関する紹介および操作性、画面と機能などに対して詳細をご確認できます。	
 Enterpriseマニュアル	<a href="#">ダウンロード</a>
 Standardマニュアル	<a href="#">ダウンロード</a>
 iPhone(iPad) マニュアル	<a href="#">ダウンロード</a>
 Android OS マニュアル	<a href="#">ダウンロード</a>
 Mac OS X ビューアガイド	<a href="#">ダウンロード</a>
 Mac OS X インストールガイド	<a href="#">ダウンロード</a>
 PCアプリケーションコンソールガイド	<a href="#">ダウンロード</a>



## 6. 遠隔地PCに接続する

遠隔地PCに接続すると、ローカルPC画面上にビューア画面が表示されます。

ビューア画面に表示される機能を利用して、遠隔地PCを遠隔操作することができます。



番号	メニュー名	説明
①	ビューアメニュー	遠隔地PCを制御するための各種機能を選択できます。 詳細は「 <a href="#">6.1.ビューアメニュー</a> 」を参照
②	遠隔地PC画面	実際に制御する遠隔地PC画面が表示されます。 遠隔地PC画面の詳細は「 <a href="#">6.2. 遠隔制御中の遠隔地PC画面</a> 」を参照
③	ステータスバー	遠隔制御状態や録画機能を選択できます。 詳細は「 <a href="#">6.3.ステータスバー</a> 」を参照

## 6.1 ビューアメニュー

ビューアメニューでは、遠隔地PCを制御するための各種機能を選択できます。

制御設定や、遠隔地PCの直接制御、遠隔地PC側にいる人に指示や説明をするために使用することができます。



### 6.1.1 ホーム

#### ● 制御設定

遠隔制御開始時に適用される環境を設定することができます。(接続後で設定は変更できます。)



制御設定	ネットワーク	ネットワークの状態によってデータ圧縮の有無を選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>一般：データを圧縮して転送</li> <li>高速：データを圧縮しないで転送</li> </ul>
	制御モード	遠隔地PCの環境によって制御モードを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>高速：仮想ドライバー（VRVD）で画面を検出</li> <li>グラフィック：仮想ドライバーを利用しないで画面を検出</li> </ul>
	画面色	RemoteViewのビューアに表示される画面色を選択します。
	True Color品質	一般ネットワーク環境の場合に画質を調整します。
共有画面	遠隔解像度	遠隔地PCの解像度を調整することができます。(macOS非対応)
	遠隔画面色	遠隔地PCの色を調整することができます。(macOS非対応)
画面スクロール	自動スクロール	遠隔地PCの画面がローカルPCの画面より大きい場合、ビューアの下と右側にスクロールが表示されます。オプションを選択するとマウスの動きだけで上下左右へのスクロールができます。

## マウสดラッグ

遠隔地PCの画面が大きい場合、画面をマウスでクリックした状態で引っ張り、その動きによって隠れている画面を確認することができます。

### ● 常に前へ

ビューアを他のプログラムウィンドウより最前面に常に位置させ、遠隔制御をより便利に行うことができます。



### ● 受信ファイルフォルダを開く

遠隔操作中に遠隔地PCからファイルを転送された場合に、保存されたファイルがあるフォルダを開きます。

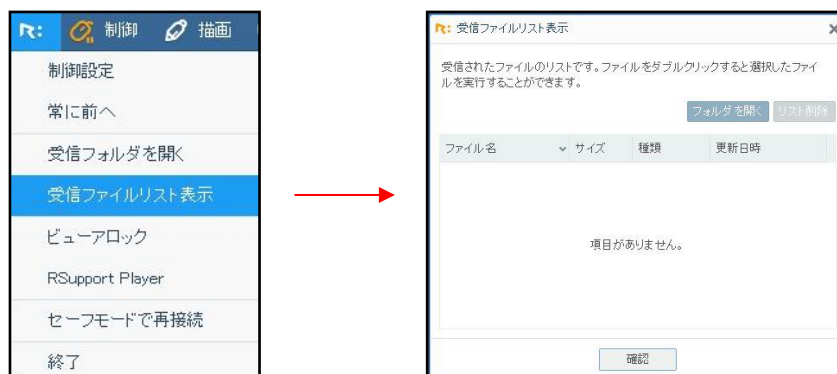


※ファイル保存先

パブリックのドキュメント¥Rsupport¥RemoteView¥Received Files

### ● 受信ファイルリストの表示

遠隔操作中に遠隔地PCからファイルを転送された場合、転送されたファイルリストを表示します。ファイル名をクリックするとそのファイルを実行することができます。

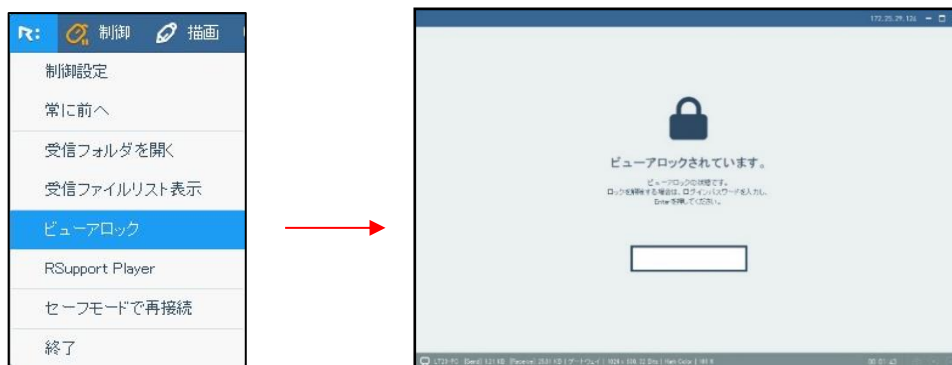


## ● ビューアロック

遠隔地PCを遠隔操作中にローカルPCのユーザーが離席することになった場合、ビューアロック機能を実行すると、ビューアの全機能を使用できないようにすることができます。

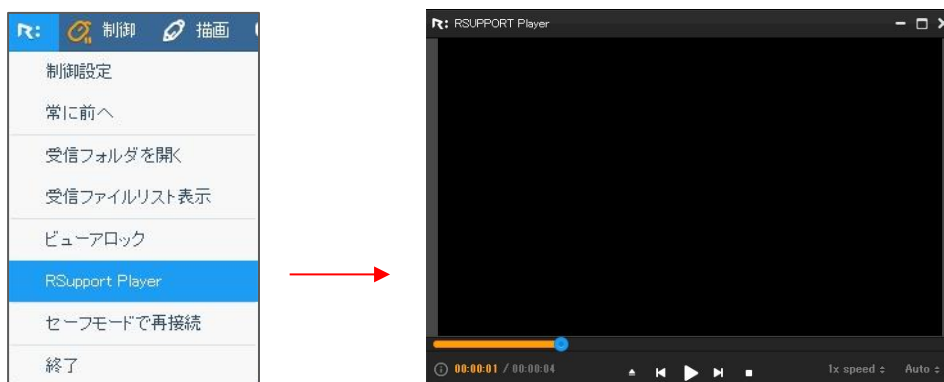
ロックを解除する場合は、Agentアクセスの際に使用するパスワードを入力します。

※ロック画面が表示された状態では遠隔接続が維持されたまま、画面情報送信も止まります。

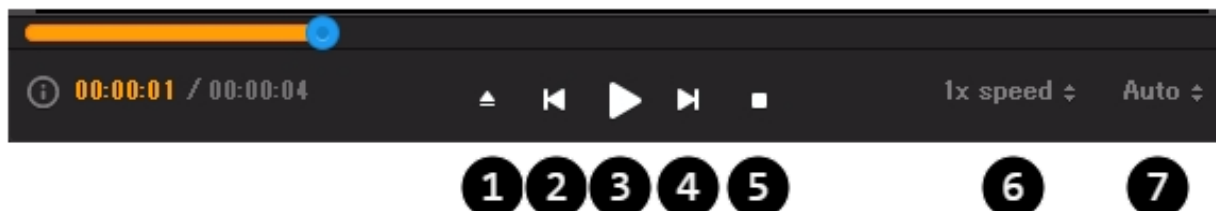


## ● RSupport Player

録画保存されたファイルを専用のプレーヤーを実行して再生することができます。



### <Playerメニューの説明>



番号	説明
①	再生する録画ファイルを選択することができます。
②	選択した録画ファイルの情報を確認することができます。

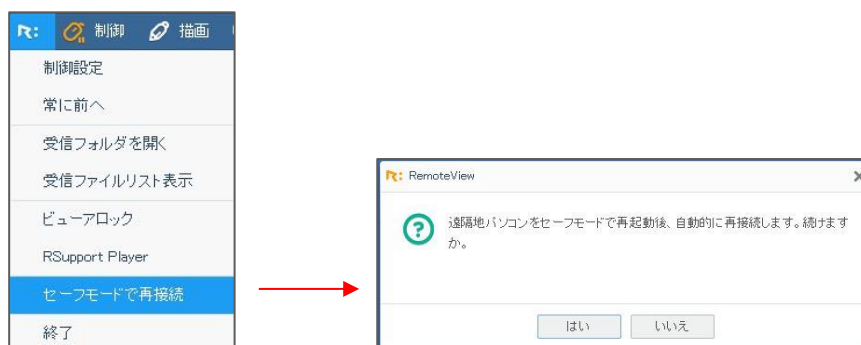
- ③ 再生中の画面の大きさを拡大/縮小することができます。
- ④ 選択した録画ファイルを再生します。
- ⑤ 録画ファイルの再生を終了します。
- ⑥ 現在再生中の録画ファイルの以前/次のファイルを再生します。
- ⑦ 再生速度を1~10倍で調整します。



- ・ RemoteViewにログインしていないPCでは録画ファイルの再生ができません。
- ・ RemoteViewプレーヤーは%temp%/rvconsol50でSCamPlayeru.exeでも実行できます。

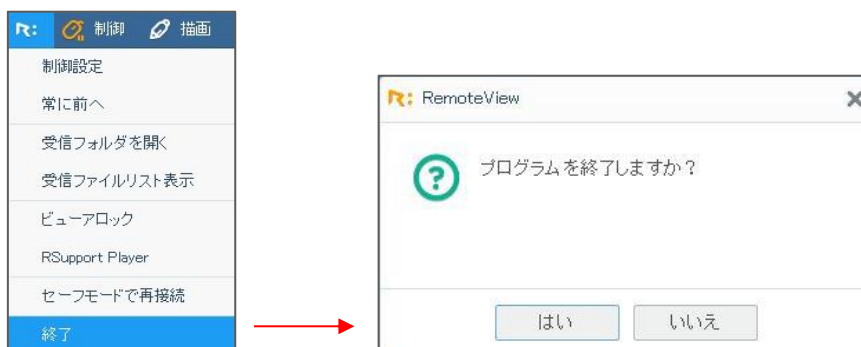
### ● セーフモードで再接続

遠隔地PCがセーフモードで再起動され、再起動後に遠隔操作に再接続します。





### ● 終了

ビューアプログラムから遠隔地PCへの遠隔制御を終了します。



## 6.1.2 制御

ビューメニューのマウスアイコンをクリックすると、制御権を取得  または解除  することができます。

### ● マウス/キーボード制御

遠隔地PCのマウス/キーボードをローカルPCから遠隔で使用できるようにします。

ビューメニューのマウスアイコンをクリックすると、遠隔地PCへのマウス/キーボード制御権取得  または解除  することができます。



### ● マウス追跡

遠隔地PCのマウスの動きをローカルPCで確認することができます。



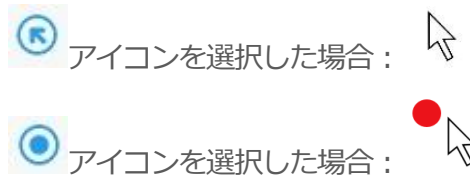
### ● レーザーポインター

矢印形のポインターを表示させ、遠隔制御の際に特定の位置や動きを簡単に案内することができます。



## ● カーソル表示

遠隔地PCに表示されるカーソルの表示方法を選択することができます。





## ● Ctrl+Alt+Del キー転送

遠隔地PCでCtrl+Alt+Delキーを押す必要があるときに使用します。



### 6.1.3 描画

ローカルPCから遠隔地PC画面に描画することができます。

ビューアメニューの鉛筆アイコンをクリックすると、描画を開始  または解除  することができます。

#### ● 描画開始

遠隔地PCへの描画を開始します。

#### ● 描画タイプ

遠隔地PCに描画する際の描画タイプを選択します。

(フリーハンド / 矢印 / 直線 / 四角形 / 円)



- **描画カラー**

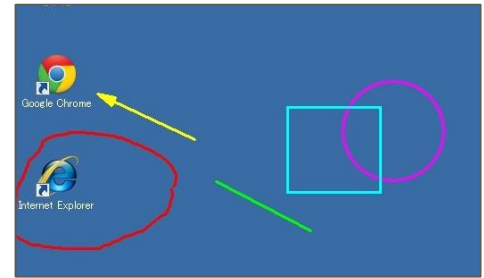
描画する線の色を変更します。

- **全体削除**


描画したすべての線を消去します。

- **双方描画**

ローカルPCと遠隔地PCから同時に描画することができます。



### 6.1.4 画面

 アイコンをクリックすると、ビューア画面上の遠隔地PC画面比率が100%、90%、80%、70%、60%、50%の順で変更されます。

- **遠隔モニター**

遠隔地PCで2台以上のモニターを使用している場合、遠隔地PCのモニターの中からモニター画面を1つ選択し、ローカルPCビューアに表示させることができます。

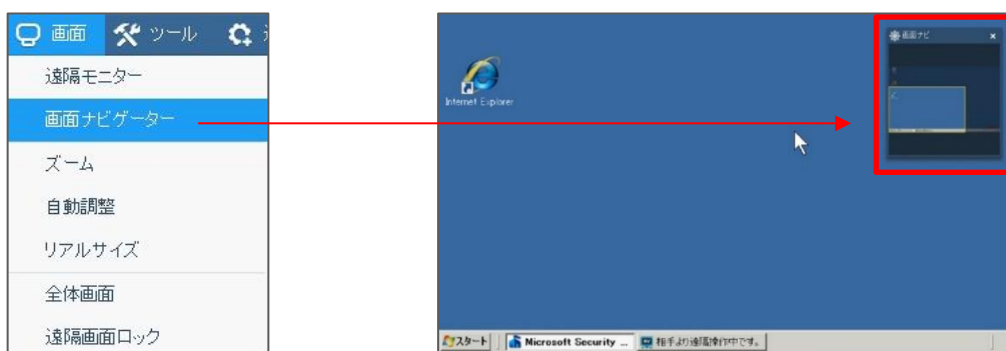
1つだけを表示するためには「全画面表示」のチェックを外します。





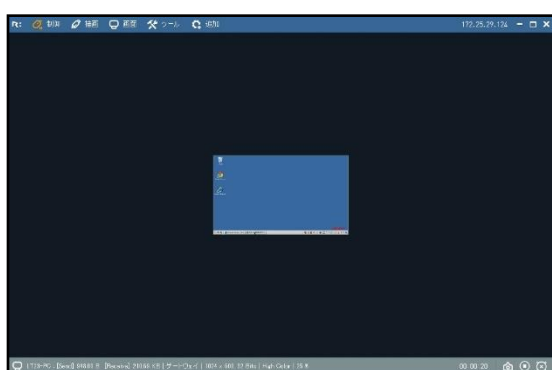
## ● 画面ナビゲーター

遠隔地PCの画面がビューアより大きい場合、隠れている部分を表示させることができます。

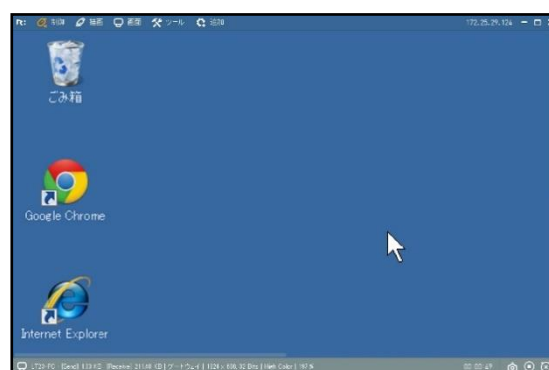


## ● ズーム

ローカルPCでビューアサイズの倍率を操作環境に合わせて25~200%倍率で調整することができます。



ズーム25%の場合



ズーム200%の場合

## ● 自動調整

ローカルPCのビューアサイズに合わせて遠隔地PCの画面を自動調整します。

## ● リアルサイズ

遠隔地PCの実際の解像度でローカルPCのビューアに表示します。



## ● 全体画面

ビューア画面の遠隔地PC画面だけをローカルPCのモニターサイズに合わせて表示します。

ビューアメニューとステータスバーが画面上から隠れますが、マウスオーバーすることでメニューを表示させることができます。

「全体画面」項目を再度クリックすると、全体画面表示が解除されます。



## ● 遠隔画面ロック

遠隔操作中、遠隔地PCの画面が他の人に見られないようにロックします。（遠隔地PCのモニターをオフにする効果です。）

「遠隔画面ロック」項目を再度クリックすると、全体画面表示が解除されます。






グラフィックカードの種類によっては、遠隔画面ロック機能に対応できない場合があります。

この場合デバイスマネージャーからモニタードライバー削除して再度モニタードライバーをインストールすることで改善される場合があります。

## 6.1.5 ツール

### ● 画面保存

遠隔制御中の遠隔地PCの画面をキャプチャし、ローカルPCにJPGファイル形式で保存します。  
ステータスバーの  アイコンをクリックしても画面保存が可能です。

保存後、 アイコンにマウスオーバーすると、以下の画面のように保存した画像がサムネイルで表示され、フォルダアイコン  をクリックすると画像が保存されたフォルダが開かれます。



### ● URL 転送

ローカルPCからURLを転送すると、遠隔地PCでウェブブラウザが起動され、URL先が開かれます。



## ● ファイル転送

ローカルPCにあるファイルを遠隔地PCに転送します。

Drag&DropやCopy&Paste機能に対応しています。ローカルPCでファイルを選択し、ビューアに表示される遠隔地PCの指定フォルダにDrag&DropまたはCopy&Pasteすることで簡単にファイルを転送することができます。

※遠隔地PCとローカルPCがWindowsPCの環境の場合ご利用いただけます。

複数のフォルダに散在しているファイルを一括で転送する場合は、「ファイル転送」項目をクリックし、転送をおこなってください。

※管理者の「制御中ファイル転送設定」が、「ファイル受信」または「ファイル送受信」の際に利用可能です。

※管理者の設定によっては、ファイル転送同意確認が遠隔地PCに表示されることもあります。

① 「ツール」の「ファイル転送」をクリックします。



② ファイル転送ウィンドウが表示されます。

「追加」ボタンまたはDrag&Dropでファイル/フォルダを転送リストに追加します。



- ③ リストから転送するファイル/フォルダを選択し、「転送」ボタンをクリックします。

※一度で転送できる容量は最大500Mbです。



- ④ 転送中の状況が表示されます。

転送をキャンセルしたい場合は、「中断」をクリックします。



※ファイル保存先（遠隔地PC）

パブリックのドキュメント¥Rsupport¥RemoteView¥Received Files

## ● ファイル取り込む

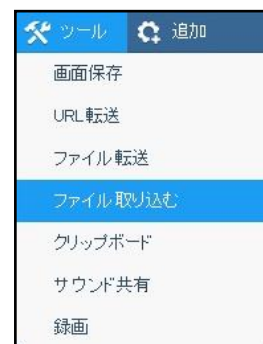
遠隔地PCにあるファイルをローカルPCに取り込みます。

Drag&DropやCopy&Paste機能(ショートカットキーCtrl+C/Ctrl+V対応)に対応しています。

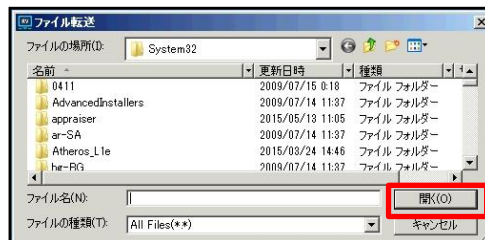
遠隔地PCでファイルを選択後、ローカルPCの指定フォルダにDrag&Drop、またはCopy&Pasteすることで簡単にファイルを取り込むことができます。

※遠隔地PCとローカルPCがWindowsPCの環境の場合ご利用いただけます。

- ① 「ツール」の「ファイル取り込む」をクリックします。



- ② ファイル転送ウィンドウが表示されます。  
「開く」ボタンをクリックします。



- ③ 「転送」ボタンをクリックします。



- ④ 転送中の状況が表示されます。  
転送をキャンセルしたい場合は、  
「中断」をクリックします。



※ファイル保存先（ローカルPC）

パブリックのドキュメント¥Rsupport¥RemoteView¥Received Files

## ● クリップボード

ローカルPCと遠隔地PCのクリップボード内容を確認/同期することができます。



● サウンド共有

遠隔地PCから出るサウンドをローカルPCで聞くことができます。  
 (詳細は「6.3. ステータスバー > サウンド共有」を参照)



● 録画

ローカルPCが遠隔地PCを操作する様子を録画することができます。  
 (詳細は「6.3. ステータスバー > 録画」を参照)

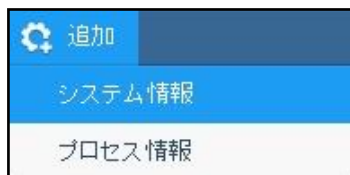


6.1.6 追加機能



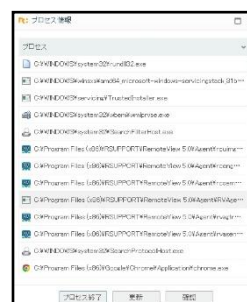
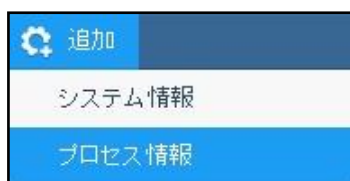
● システム情報

遠隔地PCのシステム情報(ハードウェア、ソフトウェア)を確認することができます。



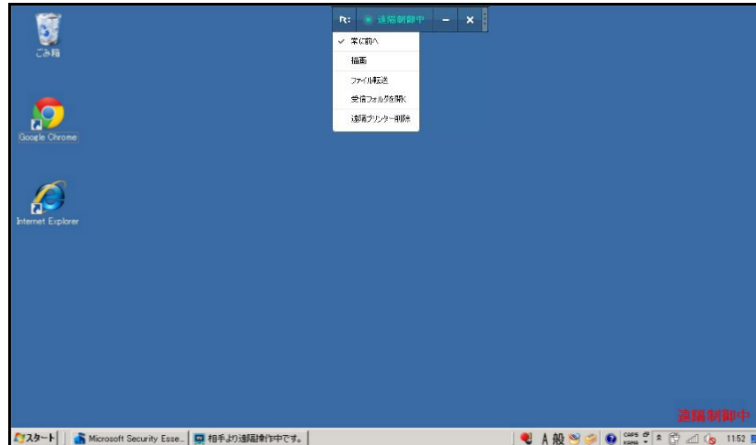
● プロセス情報

遠隔地PCのプロセス情報の確認をしたり、実行中のプロセスを強制終了することができます。



## 6.2 遠隔制御中の遠隔地PC画面

実際に制御する遠隔地PC画面が表示されます。



### 6.2.1 遠隔地PCから機能を使う

遠隔操作中、遠隔地PC画面の右下に「遠隔制御中」という表示と共に表示される接続案内画面で、ローカルPCが遠隔地PCを遠隔制御中であることを表します。

※ 注意 ※

接続案内ウィンドウを終了すると、ローカルPCとの遠隔接続も切断されます。

また、様々な機能を遠隔地PCで実行することができます。



#### ● 接続案内画面の機能

機能	説明
常に前へ	接続案内ウィンドウを他プログラムより常に前に位置させます。
描画	遠隔地PCの画面上に描画します。
ファイル転送	遠隔地PCから操作元のPCにファイルを転送します。
受信フォルダを開く	遠隔地PCから操作元のPCから受信したファイルが保存されたフォルダを開きます。
遠隔プリンター インストール / 削除	遠隔プリンタードライバーをインストール/削除します。



## 6.3 ステータスバー

ステータスバーでは、遠隔制御状態や録画機能を選択できます。



### ● RemoteView 使用状態情報





PC名・Agent名	遠隔地PCのPC名及びAgent名を表示します。
データ通信量	画面データ通信量を表示します。
ネットワーク状態	ネットワーク接続の状態を表示します。 <b>接続方式</b> : P2P / ゲートウェイ <b>ネットワーク接続方式</b> : Wi-Fi / 3G / 4G
解像度	遠隔地PCの解像度情報を表示します。
ビットレート	遠隔地PCから転送されている動画の更新率を表示します。
表示比率	ビューアに表示される画面の比率を表示します。
使用時間	遠隔地PCの制御経過時間を表示します。

### ● 画面保存

遠隔制御中の遠隔地PCの画面をキャプチャし、ローカルPCにJPGファイル形式で保存します。

※ビューアメニュー > ツールの「画面保存」をクリックしても同じ機能が使用できます。

保存後、アイコン  にマウスオーバーすると、以下の画面のように保存した画像がサムネイルで表示され、フォルダアイコン  をクリックすると、画像が保存されたフォルダが開かれます。



## ● 録画

遠隔制御中の遠隔地PCの画面を録画し、ローカルPCに録画ファイルとして保存することができます。

※ビューアメニュー > ツールの「録画」をクリックしても同じ機能が使用できます。

録画アイコンをクリックすると、録画中アイコン  に変わります。

再度クリックすると、録画が中止され、アイコンが  に戻ります。



録画終了開始後、上画面のように録画時間が表示され、フォルダアイコン  をクリックすると、録画動画が保存されたフォルダが開きます。

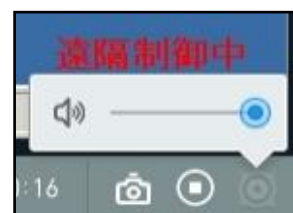
## ● サウンド共有

遠隔地PCから出るサウンドをローカルPCで聞くことができます。

※ビューアメニュー > ツールの「サウンド共有」をクリックしても同じ機能が使用できます。

サウンド共有時、 アイコンが  アイコンに変わります。

マウスオーバーすると、以下の画面のようにボリューム調整バーが表示されます。



サウンドカードの種類によっては、サウンド共有機能に対応できない場合があります。

# 7. その他

## 7.1 遠隔プリンターを使用する

遠隔操作中、遠隔地PCにあるファイルをローカルPCに繋がっているプリンターで印刷する際に使用します。遠隔地PCに仮想プリンタードライバーをインストールし、印刷情報を受信後、印刷します。

※遠隔プリンターはWindows OS環境のみで利用可能な機能で、Webブラウザからアクセスした場合はWindowsユーザー権限がadministratorの場合ご利用いただけます。

### 7.1.1 遠隔プリンターをインストールする

- Agent インストール時に同時インストール

Agentインストール時、デフォルト設定として遠隔プリンターがインストール項目にチェックが入り、インストールが実行されます。

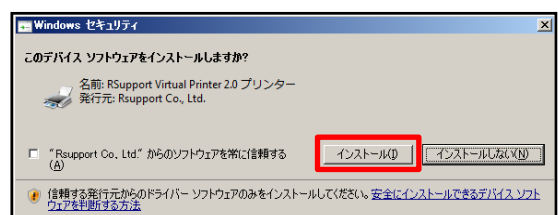
- 遠隔制御時に遠隔地 PC からインストール

遠隔プリンターがインストールされていない、または削除して再インストールする場合は、遠隔地PCの接続案内ウィンドウ内にある「遠隔プリンターインストール」メニューをクリックし、インストールすることができます。

- ① 遠隔制御中、遠隔地PC画面に表示される接続案内ウィンドウ内の「遠隔プリンターインストール」メニューをクリックします。



※インストール時、インストールを確認するウィンドウが表示される場合があります。「インストール」をクリックします。



- ② 遠隔プリンターがインストールされ、印刷することができます。



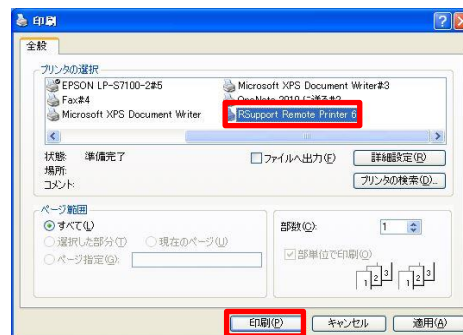
### 7.1.2 遠隔プリンターで印刷する

インストールされた遠隔プリンタードライバーを利用し、遠隔地PCのファイルをローカルPCに繋がっているプリンターから印刷することができます。

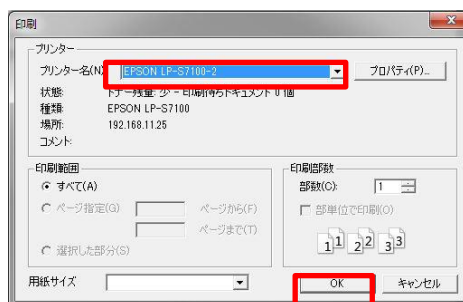
- ① 遠隔地PCに遠隔接続後、印刷するファイルを遠隔地PCから開き、印刷を実行します。



- ② 遠隔地PCに印刷画面が表示されたら、プリンタの選択で「Rsupport Remote Printer 6」を選択し、「印刷」をクリックします。



- ③ ローカルPCにも印刷画面が表示されたら、手元のPCに設定されているプリンターから1つを選択し、「印刷 (OK)」をクリックします。選択したプリンターで印刷が実行されます。



接続元のブラウザがInternetExplorerの場合、「インターネットオプション」の「セキュリティ設定」で「保護モードを有効にする」のオプションにチェックされていると接続元の印刷が発生しません。

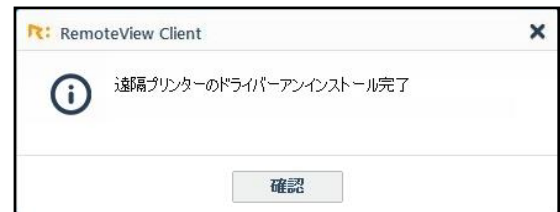
### 7.1.3 遠隔プリンターを削除する

既にインストールされている遠隔プリンターを削除します。

- ① 遠隔制御中、遠隔地PC画面に表示される接続案内ウィンドウ内の「遠隔プリンター削除」メニューをクリックします。



- ② 遠隔プリンターが削除されたメッセージが表示されます。



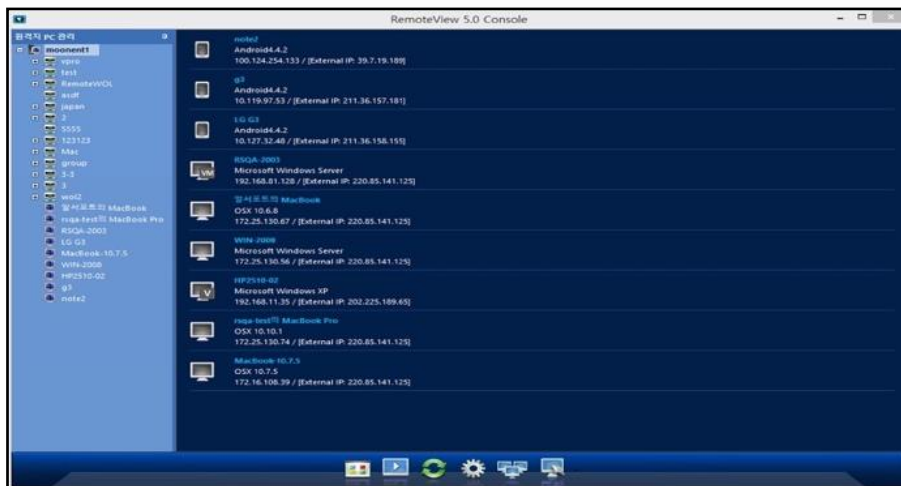
## 7.2 PCコンソールアプリケーションを利用してアクセスする

ウェブページを経由せず、コンソールアプリケーションを利用してRemoteViewアクセスすることができます。

コンソールアプリケーションダウンロード先

URL : <https://content.rview.com/storage/jp/remoteview/software/rvconsole.exe>

※詳細は別紙「PCアプリケーションコンソールガイド」をご参考ください。



## Help Desk

### 1次連絡先

このマニュアルの中でご不明な点や、上記のサイトに収録されていない質問については、ご購入先までご連絡ください。

### 2次緊急連絡先 - RSUPPORT株式会社

営業時間：平日10:00～17:00(土日祝日除く)

テクニカルサポート：03-6273-3872

お問い合わせ：support.jp@rsupport.com